

いわてまち 社協だより



110号
2024.6月

この草!
うまっ♡



子育てサロン「すくすく」で馬っこパーク・いわてに出かけた親子は、ウマの餌やりも体験。おいしそうに次々と草のお代わりを要求するウマに少し圧倒されながらも、ウマたちとの触れ合いを楽しみました。
(5月23日)

目次

- 岩手町社会福祉大会..... 2
- 第31回岩手町福祉作文コンクール..... 4
- 岩手町金婚慶祝会..... 12
- 日本赤十字社会費実績..... 15
- 社協会費、社明募金、社協特別会員..... 16
- 赤い羽根共同募金、歳末助け合い募金..... 18
- まちの福祉・寄附の紹介..... 20

この広報誌は、協働募金配分金の一部をあてて発行しています。

地域の福祉力向上に決意新た



藤原会長⑤から表彰状を受ける一方井友愛サークルの田中洋子さん

第43回岩手町社会福祉大会（藤原徳明大会長）が令和5年12月1日、岩手広域交流センタープラザあいで開催され、町内の福祉・教育関係者約50名が参加しました。

「住民総参加による生涯現役の福祉のまちづくり」をスローガンに掲げたこの大会のオープニングは、岩手町立沼宮内保育所の園児による「八木節」でにぎやかにスタート。町の社会福祉向上に尽力された方々の表彰のほか、福祉作文コンクール最優秀受賞者の発表などが行われました。表彰された方は次のとおりです。（敬称省略）

◇社会福祉事業功労者

- 多年にわたり町身体障がい者協議会役員として会の発展育成に尽力
田中幸雄（町身障協会長）
- 鈴木タツ子（町身障協理事）

- 多年にわたり町老人クラブ連合会監事として会の発展育成に尽力
高橋修（町老連監事）

- 多年にわたり町社会福祉協議会役員として社会福祉の向上に貢献
遠藤美江子（町社協副会長）

- 多年にわたり町社会福祉協議会の保育士として児童の健全育成に貢献
高村真木子（川口保育所長）
松森幸子（沼宮内保育所長）

◇広く社会に顕彰するもの

- 社会福祉事業に対する功労奉仕等で貢献
田中洋子（一方井友愛サークル）

◇共同募金運動功労者

- 多年にわたり共同募金会奉仕者として共同募金運動に協力
早坂浩喜（釜の口地区行政連絡員）
国枝金一（下鴨沢地区行政連絡員）

子どもたちの思いやりの心・助け合いの心

岩手町福祉作文コンクールは、地域社会や家庭での体験を通じて、思いやりの心・助け合いの心を養い、地域福祉への理解と関心を高めることを目的として実施しており、今大会では最優秀賞を受賞した児童・生徒5名の発表が行われました。

なお、第31回岩手町福祉作文コンクール最優秀作品は、5ページ以降で紹介します。



第31回岩手町 福祉作文コンクール 最優秀賞受賞者

(敬称略)

- 小学校低学年の部
『みんなのためにできること』
沼宮内小学校1年 宮本千夏
- 小学校中学年の部
『ふくしの意味に気づいた日』
沼宮内小学校3年 佐々木悠平
- 小学校高学年の部
『ヘアドネーションとおばさん』
一方井小学校5年 今松紗羅
- 中学校の部
『私が引いた境界線』
川口中学校3年 佐藤芽衣
- 高等学校の部
『癒しと安心を与える看護師を目指して』
沼宮内高等学校3年 佐々木萌

※学年等は令和5年度コンクール実施時点で表記しています。

第31回岩手町福祉作文コンクール

町社会福祉協議会では、地域福祉への理解と関心を高めることを目的として、福祉作文コンクールを毎年開催。31回目を迎えたコンクールには、学校、家庭、福祉施設での体験や、高齢者・障がい者との交流によって育まれた思いやり、助け合いの気持ちなど、福祉の心にあふれた42点の作品が寄せられました。本紙ではその中から最優秀賞受賞作品を紹介します。

入選作品

《小学校 低学年の部》（応募総数9点）

入選	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀	沼宮内小学校	1	宮本 千夏	みんなのためにできること
優秀	沼宮内小学校	2	八重樫結翔	じまんのおじいちゃん
佳作	川口小学校	1	青沼 柊和	はぐしてくれてありがとう
佳作	沼宮内小学校	2	千葉 文翔	ぼくの家ぞく
佳作	川口小学校	2	千葉 憩	元気になるあいさつ

《小学校 中学年の部》（応募総数9点）

入選	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀	沼宮内小学校	3	佐々木悠平	ふくしの意味に気づいた日
優秀	沼宮内小学校	4	滝川 未彩	キャップハンディ体験をとおして
佳作	沼宮内小学校	3	日廻凱音士	「ふつう」がしあわせ

《小学校 高学年の部》（応募総数10点）

入選	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀	一方井小学校	5	今松 紗羅	ヘアドネーションとおばさん
優秀	一方井小学校	6	三浦こまち	優しいお母さん
佳作	沼宮内小学校	5	畑中陽菜里	大好きなじじ
佳作	川口小学校	5	高村 隼	ぼくにもできるSDGS
佳作	川口小学校	6	四日市莉珠	視覚障害者の人のためにできること

《中学校の部》（応募総数11点）

入選	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀	川口中学校	3	佐藤 芽衣	私が引いた境界線
優秀	沼宮内中学校	3	田村 優奈	私の祖母
佳作	沼宮内中学校	1	高橋 絢音	自分のこととして考えよう
佳作	一方井中学校	2	久慈野々花	高齢者にやさしい社会へ
佳作	川口中学校	3	大澤 春花	おばあちゃんと福祉

《高等学校の部》（応募総数3点）

入選	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀	沼宮内高等学校	3	佐々木 萌	癒しと安心を与える看護師を目指して
優秀	沼宮内高等学校	3	佐々木俐緒	岩手町の福祉に貢献するために私ができること

※学年等は令和5年度コンクール実施時点で表記しています。

綴る思い
福祉の心

福祉作文コンクール 最優秀作品紹介

小学校 低学年の部

みんなのためにはサボらず

沼宮内小学校 1年 宮本 千夏

わたしには、すきなことがたくさんある。ぬりえ、ともだちとあそぶこと、そしてそうじ。

そうじは、ほいくしよのころからやるようになった。おうちでも、ママにいわれるまえにそうじをしているの。へやのゆかや、おにいちゃんをつくえのうえ、それに、ママのくるまをきれいにするおてつだいもしたことがある。それに、がっこうのそうじもすき。そうじがないひでも、ともだちといっしょにきょうしつやトイレをきれいにしているんだ。一かいやればどんだんのしくなつて、もっとやりたいいきもちになる。それでも、わたしにはまだできないことがある。このまえ、おふろそうじをしているパパに、

「わたしおふろそうじやりたい。」
っていったら、

「ちなつは、まだちいさくてあぶないから、もうすこしおおきくなつてからね。」

といわれた。いままでいろんなところのそうじしてきたのに、なんだかがっかり。でも、もうすこしおおきくなつたら、パパとおふろそうじができるのかあ。そうぞうしてみたら、パパのうれしそうなかがうかんできた。なんだかわくわくしてきたな。

たのしいからそうじがすき。いままではそうおもっていたけど、ていねいにそうじをしたり、じぶんからそうじをしたりすると、いろんなひとに、

「すごいね。たすかったよ。ありがとう。」

とえがおでいわれることにきづいた。そうか、わたしがやっていることっているんなひとをたすける、とってもすてきなことなんだ。だからこれからも、みんながえがおになるように、じぶんができることをしていきたい。



小学校 中学年の部

ぼくの意味で気づいた日

沼宮内小学校 3年 佐々木 悠平

ぼくは、夏休みに大学病いんにいきました。心ぞうの病気を見てもうためです。

大学病いんには、心ぞうの病気だけではなく、もっとたいへんな病気の人もいました。はなにくだを入れている人や、車いすとさんそを使っている人、てんてきをしている人などがいました。その中には、ぼくよりも小さな子もいて、どうしてこんな事になっちゃったのだろう、かわいそうだなと思いました。

あの子たちは、家でもてんてきやさんそを使って生活していること、走って遊ぶことも、できないこと、「すきなものを食べられないかもしれないんだよ。」ということもお母さんから聞きました。その話を聞いて

た時も、やっぱりぼくはかわいそうだと思いました。自分のやりたいことが自由にできないと感じたからです。

病気の子たちの家族も大へんそうでした。大きな車いすと、たくさんのもつを持っていどうしたり、くだがからまないように注意したりしていました。朝早い時間も夜中も、ずっとおせわしていて、大へんだろうなと思いました。

ぼくの心ぞうは、いつどこで発作がおきるかわかりません。発作が起きたら大学病いんに連れて行ってもらいいます。夜中でも、お母さんが仕事の時も、大雪や台風でも連れて行ってくれます。だけど、お母さんは一度も大へんだと言ったことはありません。どうしてかと聞いたなら「悠平は大切な家族だからだよ。」と、

いわれました。

大学病いんで会った子たちの家族も、ぼくのお母さんと同じ気もちなのかなと思いました。大切な家族だから大へんなおせわもがんばれるのかなと思いました。ぼくも大切な家族がこまってくるしんでいたら、見捨てないで全力で助けたいと強く思います。

ぼくは、この作文を書くまでふくしの意味を知りませんでした。病いんに行つた日、病気の子たちを見てかわいそうとだけ思っていた気持ちがあつたかわつて、もしあの子がぼくの家族だったら、何か力になれることはあるかな、と考えるようになりました。ぼくは今九さいで、まだ何もできないかもしれないけれど、助けがひつような人がもし自分の大切な家族だったら、いつも考えて生活していき、小さなことでも力になれることがあれば助けたいです。それがふくしの意味だと、ぼくは思います。

福祉作文コンクール 最優秀作品紹介

小学校 高学年の部

ヘアドネーションもはちゃん

一方井小学校 5年 今松 紗羅

二年生のときに友達の話を知り、ヘアドネーションのことを知りました。でもそのとき私は、あまり深く興味はもちませんでした。

三年生の春になって、私は、宮城のおばさんの所に行きました。お母さんのお姉さんです。そのおばさんは、幼いころに病気で両目が全く見えなくなりました。けれどもおばさんは、点字を覚え、英語の勉強をして、海外留学をするほどの努力家でした。それだけではなく、おばさんは、同じように目の見えない人と結婚し、家事や料理、子育てなどもしています。私の自慢のおばさんです。

けれども、おばさんはがんになってしまつて、余命半年と病院の先生に言われたので、おばさんをお見舞いに行

と思つてほしくなりました。

私は、病気で闘う人の笑顔を守るために、ヘアドネーションをするという決意をしました。

それから私は何回も三十センチ定規で髪の毛の長さを測つて、髪を伸ばし続けました。そしてついに、三十センチ以上髪が伸びたので、床屋で髪を切りました。何本も束にして切つた瞬間、「これでいいんだ。これでみんなが笑顔になりますように。」

と、思いました。同時に、髪が無くなるさびしい、不安だという気持ちも押し寄せてきました。おばさんも髪が抜けたとき、同じ気持ちだったのかなとふと思つて、おばさんの顔を思い出してしまいました。

そんなことを考えていたころには、おばさんは、似合うと言つていたウィッグをかぶつて、天国に行つてしまいました。私は、ウィッグで人が幸せになれば、幸せにできるお手伝いになれば、そして同じ気持ちになつてくれる人が少しでも増えればいいなと思いました。

きました。腹水や副作用で髪が抜けているのに、お母さんやお父さんと元氣そうに話をしている様子を見て、やっぱり自慢のおばさんだなあと思いました。そんなことを考えていると、おばさんがウィッグをかぶつて、笑顔で、「似合う。」と、私に言つてきました。そのときの顔が忘れられず、あの笑顔を守るために、何が必要で、私に何ができるかをずっと考えていました。

そんなときにふと、友達が言つていたヘアドネーションのことを思い出しました。病氣と闘いながらも副作用で髪が抜けてしまう私と同じくらいの子供の話を知っていたのです。だから、健康である私たちの髪の毛で、少しでも病氣と闘う子供たち、大人の方にも「幸せ」「人生楽しいなあ。」

中学校の部

私が引いた境界線

川口中学校 三年 佐藤 芽衣

私の将来の夢は手話を使う仕事に就くことです。普段から手話の本を読んだり、よく使われる手話を覚えたりしています。ですが、手話を実際に使つてろう者の方と話すということはありませんでした。

ある日、私は地域のスポーツクラブに行つたとき、そこには補聴器をつけた男の子がいました。その子はまだ小さく言葉を少し話す程度でした。ですが、その子はお菓子をもらうと、「ありがとう」と手話で伝えていたので、その子はまだ小さいのですが、少しずつ簡単な手話を覚えられるように教えているのだと言います。簡単な手話を覚えようとしているのなら、と思ひ私も手話で少し話そうと思ひました。しかし、私はその子の前で手話

を使うことをためらいました。今、目の前で手話を使つて話しかけてしまつたら、その子は言葉を話すことができずに、ろう者と健常者をはつきり分けていてのではないか、周りにも不快な思いをさせてしまうのではないかと思ひ、手話を使つて話しかけることが私にはできませんでした。家に帰つて、その出来事がしばらく頭から離れませんでした。手話の職業に就きたいと思つているのに、いざ自分が手話を使つて会話をしようとするためらつてしまふ、それは、私の初めての経験でした。手話について自分なりに勉強していたはずなのに、気持ちの面で悩むことがあるとは思ひもしていませんでした。しかし、私はふと気が付きました。手話を使うことをためらつてしまふそのこと自体が、自分の中で健常者とするろう者の境界線を引いてしまつて

いるのではないかということに。今までは、私たちが話してコミュニケーションをとるように、手話は、ろう者にとつてのコミュニケーションの二つの方法だと考えていました。手話はろう者同士だけではなく、耳が聞こえる健常者とするろう者が、つながる二つの方法でもあります。しかし、私は知らないうちに、ろう者が手話を使う、と頭の中で勝手に決めつけてしまつていました。なので、その子に対して、手話を使つたら、その子自身や、周りの人たちに不快な思いをさせてしまうのではないかと考えていたのです。私はそのことに気づき、悲しくなりました。ろう者と健常者の境界線をなくしたい、だから手話を使つて、コミュニケーションを取れるようになりたいと思つていたのに、自分が境界線を引いている行動をとつていたことが、自分に対して許せませんでした。その子を一人の子どもとして見るのではなく、一人の健常者、ろう者だと勝手に区別して考えてしまつていました。しかし私は、また同じような場面になつたとき、手話を使うという選

福祉作文コンクール 最優秀作品紹介

扱が自分にはできないような気がしました。それなら、どういう場面であれば、自分は手話を使うという選択ができるのか考えました。するとある答えにたどり着きました。それは、手話をろう者が使うコミュニケーション方法だと決めつけられないことです。私たちが普段話しているように、意識しすぎず、通訳士のように気軽に手話を使う人がもつと増えれば、周りを気にせずより多くの人を使うことができるのではないかとも思いました。

私が境界線を引いたことから、手話を知り、より気軽に使う人が増えてほしい、このような考えにたどり着きました。この経験を通し、手話を使う仕事に就きたいという思いがより一層強くなりました。

英語は、国境を越え、思いを伝え合うことのできる言語です。手話も、健常者とうろう者の境界線を越え、英語のように、使う人が増えてほしいと思えました。そして、境界線が少しずつ消え、社会全体が明るくなり、暮らしやすくなることを願っています。

高等学校の部

癒うつ不安な心を支える看護師を目指して

沼宮内高等学校 三年 佐々木 萌

少子高齢化が進む岩手県では、六十五歳以上の人口は四十万八千人で、十五歳未満の人口は十二万五千人と、高齢者が総人口に占める割合は過去最高の三十四・六パーセントとなった。岩手町にも同じことが言える。これからも少子高齢化が進むとその看護・介護を担う人材が不足するという状況になる。日本では少子高齢化に加え、看護師の人手不足も問題になっている。岩手県は、全国と比較すると看護師の離職率は低いという結果だった。しかし、二〇二五年には最大で二十七万人もの看護師が不足すると予想されている。その背景の一つとして二〇二〇年から世界的に流行した新型コロナウイルスの影響があげられる。通常の業

務に加え、特別な対応をしていかなくてはならないという身体的・精神的負担が、退職の一因になっていると考えられる。離職者が増えることにより、看護師一人ひとりにかかる負担が更に大きくなるという状況になりかねない。私はこのような社会の中で、少しでも地域に貢献できるようにになりたいと考え、看護師を目指している。看護師は医師の診察に基づき、診療や治療の補助を行い、病気や怪我などで不自由な生活を送る患者さんに対して、看護を提供する職業だ。

私が看護師を目指すようになったきっかけは二つある。一つめは、高校一年生の時、新型コロナウイルスに感染し、入院したことだ。連日、テレビのニュースで報道され苦しんでいる患者さんの映像が流れてく

る。人工呼吸器をつけなければ呼吸ができない、ほぼ寝たきりの状態が映されていた。幸い私は症状が軽く、療養期間は普段とあまり変わらない生活をしてきた。そんな中、看護師の方々は防護服や医療用のマスクを着用して患者さんに対し丁寧に対応していた。自分たちもかかるかもしれない危機的な状況の中、患者さんを受け入れ働いている看護師の方のひたむきな姿に憧れを抱いた。どんなに忙しくても、感染した患者さんを目の前にしても患者さん一人ひとりの観察をしながら素早かつ的確に対応していた。

二つめは、曾祖母の存在である。曾祖母は今年で九十八歳を迎えた。自分のことは自分でやり、なにげない雑談や農作業などでの外仕事が好きな人だった。一昨年から施設へ入ってしまったが元気に過ごしていて、家に帰りたいと未だに言っているそうだ。そんな曾祖母だが、一緒に暮らしていた頃はちょっとしたことでもよく、病院に連れて行ってくれ

と言っていた。診察が終わるといつも嬉しそうにして帰ってくる。看護師の方は、曾祖母の話を親身に聞いてくれていたらしい。今考えると、病院で話をして癒しをもらっていたのだと思う。

看護師は患者さんとのコミュニケーションを大切にしている。それは治療とはいつもコミュニケーションを通して行っていくものだからだ。話を聞いてもらうだけでも気分が晴れるということが分かった。相手を思いやり、丁寧に仕事をこなし、患者さんと向き合う看護師の方を見て、私も将来看護師になりたいと考えるようになった。私は、あの時お世話になった看護師の方々のように優しさを持ち、患者さん一人ひとりに寄り添い、病氣の方にも元気になってももらえるように手助けしていけるような看護師になりたい。看護師は「命」という責任を負う厳しい職業だが、それ以上にやりがいや喜びも多いと思う。

最後に、日本では少子高齢化が進

んでいることによって、看護の人材が不足しているのが現状である。病氣になった方、怪我をした方の補助をする看護師が減ってしまったら、他の医療従事者が看護することになる。そうなる、負担が増えて退職する人も多くなると思う。現在は、労働環境の整備、スタッフのライフスタイルに合わせたサポート体制・IT化による業務の効率化などの対策を行っている。看護師は人の命を救うという大事な使命が与えられている。これ以上、人手不足の状況を作り出さないためにも働きやすい環境を整えていくことが必要だと思う。年齢や障害の有無にかかわらず、差別がなく、安心・安全で住みやすい世の中を協力して作り上げていきたい。



総評

気持ちをかたち

第三十一回岩手町福祉作文コンクールに、町内各小中学校や高校から多数の応募をいただき、誠にありがとうございます。

どの作品も相手を思いやる温かな心、支え合う心があふれる素晴らしいものでした。家族への思いや福祉体験での学びを述べたり、地域や現代的な課題について真摯に考察し将来を考えたりしている姿が大変素晴らしいと感じました。相手への思いやりの気持ちがたくさん表れている作品を読んで、私もとても幸せな気持ちになりました。ありがとうございます。

さて、人が幸せを感じる時は、どんな時でしょうか。

三つ上げるとすれば、一つは、人から「してもらおう」幸せです。赤ちゃんがお母さんからお乳をもらう。病気になるつた時家族に看病してもらう。友達からプレ

ゼントをもらうなど、人から何かをしてもらった時、とてもうれしい気持ちになります。二つ目は、「できるようになる」幸せです。初めて自転車に乗れた時のうれしさ、初めて泳げた時のうれしさを覚えていきますか。今までできなかったことができた時とても幸せな気持ちになります。自信も生まれてきます。三つ目は、「してあげる」幸せです。家族や友達、周りの人に何かをしてあげる。相手のことを思い、自分から何かをした時、その人の喜ぶ姿や笑顔を見ると、何とも言えない満足感が湧いてきます。そして、「ともに生きる幸せ」を感じます。これが最も価値のある幸せではないでしょうか。詩人の宮澤章二さんは、「行為の意味」という詩の中で、「心」や「思い」という気持ちは見えにくい。だからこそ、その気持ちを「心づかい」という行為や「思いやり」という行動で「カタチ」に表し

ていこうと訴えています。

今回の福祉作文入選作品集には、皆さんの美しい気持ちが「カタチ」となり、「ともに幸せになろう」という素敵な決意がよく表れています。

今、各校では福祉教育が定着し、福祉体験学習が行われ、また、ご家庭での教育や地域の教育活動の充実によって福祉の心が育ってきています。保護者の皆様、地域の皆様には、ぜひこの入選作品集の一つ一つから、岩手町の児童生徒のやさしい「心づかい」や「思いやり」に触れていただきたいと思えます。

最後になりますが、これまで児童生徒を導き、丁寧なご指導をいただいた各校の先生方のご労苦に敬意と感謝を表しますとともに、岩手町の子どもたちに温かな福祉の心を育んでいただいているご家族の皆様、地域の皆様、社会福祉協議会等の関係機関の皆様にご心より感謝申し上げます、総評といたします。

岩手町福祉作文コンクール審査委員長

岩手町教育長 佐藤 卓

岩手町 金婚慶祝会

共に手を携え50年

町社会福祉協議会は令和6年1月26日、岩手広域交流センター・プラザあいを会場に「岩手町金婚慶祝会」を開催しました。結婚50年の節目を迎えられたご夫婦18組のうち、14組に参加いただきました。参加されたご夫婦は、共にこの日を迎えた喜びを分かち合い、これからも末永く手をたずさえ、健やかに暮らしていくことを誓いました。



土橋文男様・啓子様
(大坊)



竹田徳一郎様・アツ子様
(新町)

結婚50周年を
迎えたご夫妻を
紹介します



かわいい踊りを披露して参加者の結婚
50周年を祝う一方井保育所の園児たち

園児たちの踊りにほほを緩ませる参加者たち。
共に歩んだ50年の節目を楽しく過ごしました



立花健一様・悦子様
(ニッ森)



木戸口勇三様・恵美子様
(下屋敷)



山中鐵男様・セイ子様
(細沢)



田村正様・登志子様
(橋場)



竹田嘉雄様・慶子様
(橋場)



斉藤裕様・友子様
(駅通)



松原誠蔵様・スエ様
(一方井)



穀蔵和喜様・トシ様
(穀蔵)



堤正三様・洋子様
(水無)



田村秀光様・ミヨ様
(土川)



田中耕輔様・純子様
(土川)



佐々木守様・カズエ様
(黒内)

目赤会費総額 2,117,500円

令和5年5月から行った日本赤十字社の会費募集では、下記のとおりたくさんのご協力をいただき誠にありがとうございました。

この会費は、日本赤十字社事業として、国際援護活動・災害救護活動・災害救援活動・医療事業・血液事業・青少年赤十字（JRC）などに役立てられます。

万が一、町民の方が被災された場合には救援物資の支給や見舞金を受けられる制度もあります。

一般社資及び法人社資納入状況

●一般会費

(単位:円)

地区	会費金額	地区	会費金額	地区	会費金額	地区	会費金額
前ヶ沢	7,500	相真瀬	8,500	子抱団地	7,000	子抱	10,000
吉谷地	3,000	万部	9,500	細沢	20,500	芦田内	16,500
御堂新田	6,000	大平	4,000	太田	25,500	野原	39,000
御堂	17,500	上・下五日市	115,000	横田	43,000	雪浦	27,000
水堀	15,000	城山・新町	55,000	半在家	7,500	橋場	74,500
小山沢	5,500	民部田	61,500	久保・落合	26,500	上町	16,000
朽木林	10,000	柳橋	18,500	新田	22,000	駅通り	51,500
北上	2,500	舘	54,500	土川	29,500	下町	16,500
上横沢	11,000	田中・栄小路	23,000	大森	12,500	山道	24,000
下横沢	9,000	上大町	14,000	一方井	51,000	境田・二ツ森 1、2	83,500
尾呂部	28,500	下大町	32,500	中田	18,000	秋浦・高梨	15,500
川原木	26,000	上野口町	21,500	黒石	28,000	土滝・雨滝	4,000
笈の口	10,000	下野口町	15,500	大股	5,500	子九十	6,000
豊岡	11,500	上愛宕下	24,000	上黒内	11,000	大渡・遠中沢	11,500
大坊 1・2	40,500	新愛宕下	40,500	下黒内	20,500	太布	6,500
岩瀬張	16,500	下愛宕下	52,000	葉木田	21,500	水無	11,500
曲り	3,500	江刈内	25,500	今松	26,500	丸泉寺	5,000
一本柳	4,000	石神	41,500	上嶋沢	24,500	穀蔵	2,500
白椗	7,500	上苗代沢	23,500	下嶋沢	15,000	一般会費 計	1,928,000
日の神子	8,000	下苗代沢 1	15,500	上浮島	11,500		
膝突・下屋敷・葉の木・上平	17,000	下苗代沢 2	23,000	下浮島	37,500		
大金沢・小金沢	7,000	駅前	13,000	岩崎	14,500		
落葉	3,500	犬袋	57,000	沼袋	9,000		

●法人会費

(単位:円)

事業所名	会費金額	事業所名	会費金額
特別養護老人ホーム あんずの里	30,000	㈱高橋建設	5,000
㈱飯島産業	10,000	㈱武田鉄工所	10,000
社会福祉法人 いわて育心会	5,000	みなみよ〜とん(株)	10,000
岩手トヨペット(株)沼宮内支店	10,000	㈱東光舎 岩手工場	5,000
㈱岩手銀行 沼宮内支店	2,000	㈱東北銀行 沼宮内支店	5,000
北上脳神経外科クリニック	10,000	(有)中居建設	5,000
(有)キロサ肉畜生産センター	5,000	(有)沼宮内タクシー	5,000
医療法人 日新堂 介護老人福祉施設ケアホーム川口	10,000	㈱ミウラ農場	2,000
小豆嶋眼科クリニック	10,000	㈱宮崎商店	5,000
(有)白畑葬儀仏具店	5,000	横澤林業(株)	10,000
瀬川モーターズ(有)	10,000	㈱ライブショップメイト	10,000
(有)外山商店	10,000	法人会費 計	189,500
沼宮内郵便局	500		

社会福祉協議会会費(1世帯800円)・社会を明るくする運動募金(1世帯100円)

ご協力ありがとうございました まちの福祉のために大切に使用させていただきます

◎下記のとおり令和5年度分を報告いたします(行政区ごと)

(単位:円)

地 区	世帯数	金 額	地 区	世帯数	金 額	地 区	世帯数	金 額
前ヶ沢	15	13,500	上大町	27	24,300	下黒内	41	36,900
吉谷地	6	5,400	下大町	63	56,700	葉木田	43	38,700
御堂新田	12	10,800	上野口町	44	39,600	今 松	54	48,600
御 堂	35	31,500	下野口町	29	26,100	上嶋沢	49	43,300
水 堀	30	27,000	上愛宕下	52	46,800	下嶋沢	31	27,900
小山沢	11	9,900	新愛宕下	81	73,000	上浮島	23	20,700
朽木林	20	18,000	下愛宕下	103	92,700	下浮島	75	67,500
北 上	5	4,500	江刈内	51	45,900	岩 崎	29	26,100
上横沢	22	19,800	石 神	76	68,400	沼 袋	18	16,200
下横沢	18	16,200	上苗代沢	41	36,900	子 抱	20	18,000
尾呂部	57	51,300	下苗代沢1	31	27,900	芦田内	33	29,700
川原木	52	46,800	下苗代沢2	40	36,000	野 原	78	70,200
笈の口	20	18,000	駅 前	27	24,400	雪 浦	54	48,600
豊 岡	23	20,700	犬 袋	114	102,600	橋 場	149	133,300
大 坊 1・2	80	72,000	子抱団地	14	12,600	上 町	32	28,800
岩瀬張	33	29,700	細 沢	41	36,900	駅 通	103	92,700
曲 り	7	6,300	太 田	51	45,900	下町・山道	81	72,900
一本柳・白萩・日の神子	39	35,100	横 田	86	77,400	境田・二ツ森1・2	167	150,300
下屋敷・膝突・葉の木・上平	34	30,600	半在家	7	6,300	秋浦・高梨	32	28,800
大金沢・小金沢	14	12,600	久保・落合	53	47,700	土滝・雨滝	8	7,200
落葉・相寅瀬・万部	43	38,700	新 田	44	39,600	子九十	12	10,800
大 平	8	7,200	土 川	59	53,100	大渡・遠中沢	23	20,700
上・下五日市	230	207,000	大 森	25	22,500	太 布	13	11,700
城山・新町	100	90,000	一方井	102	91,800	水 無	23	20,700
民部田	123	110,700	中 田	36	32,400	丸泉寺	10	9,000
柳 橋	37	33,300	黒 石	64	57,600	穀 蔵	4	3,600
館	109	98,100	大 股	11	9,900			
田中・栄小路	46	41,400	上黒内	22	19,800	合 計	3,828	3,443,800

社会福祉協議会会費は…

1世帯
800円のご協力

地域福祉ネットワーク事業、高齢者福祉サービス、福祉団体等の育成、子育て支援、ボランティア活動支援、福祉教育の推進等、社会福祉協議会が実施する様々な福祉活動の運営費に充てられます。

誰もが、住み慣れた町で安心して過ごせるよう、住民参加による生涯現役の福祉のまちづくりを目指し、地域に寄り添った事業を展開してまいります。

社会を明るくする運動募金は…

1世帯
100円のご協力

岩手地区(岩手町・八幡平市・葛巻町)保護司会の活動資金に充てられます。

保護司は、犯罪や非行に陥った人の更生を支援するとともに、地域の犯罪・非行の予防を図る活動が無償で行なっている民間ボランティアです。保護司の活動に協力する趣旨の募金です。

令和5年度

岩手町社会福祉協議会特別会員の紹介

令和5年度岩手町社会福祉協議会特別会員の皆さまに感謝申し上げますとともに、ご協力いただいた会費は社会福祉協議会の運営費、高齢者福祉・福祉教育・ボランティア活動などの事業費として地域福祉向上のために有効に活用させていただきます。

【順不同／敬称略】

佐々木光司	吉田 和彦	竹花 勇治	西島佳苗子
久保 栄司	四日市里美	高橋真友子	千葉 英之
高橋 昭子	笹渡 輝昭	松田 伸	鈴木 智子
金澤 浩美	高村 伸男	柵山 実	北舘 晶子
須賀太仁子	大澤 直樹	田村 律子	丹内 貴明
佐藤 秀樹	高橋 宗介	畑中 鉄実	上澤 一久
佐藤 亘	山中 寿行	地舘 浩二	立花紀代子
阿部 智光	熊谷 洋造	阿部 陽子	田屋 千秋
高橋 良美	八戸 裕雄	大巻 和紀	田中 盛夫
佐藤 博光	立花 裕	高橋 大記	越戸沢友樹
田村 育江	千葉 優子	工藤 晋	阿部 嘉仁
帷子 晃弘	佐々木一馬	宮田 誠	岩崎 朋之
竹田 宏記	佐藤 卓	井上 祐司	田村 秀彦
丹内 真子	西島 寿紀	藤澤 祐介	早坂真奈美
滝川 勉	志田 順悦	武田 茂	田中 二郎
田村 正	小島 英亮	朽木元治郎	高橋 幸子
松山 宗治	福士 範美	千葉 岩男	伊藤 正信
府金 義明	武田 光清	佐々木義昭	竹花 正雄
杉 直晃	小林 信夫	熊谷 哲夫	江刈内優子
村木光由規	久保 早苗	水堀 一男	澤屋敷民子
北上 雅宣	竹田徳一郎	太田代朝子	福田 幸江
森子百合子	民部田雅夫	乙茂内利夫	岩崎 光雄
高橋 満	岩舘 カツ	中澤真紀子	水谷 文子
田中 幾子	浅沼 良子	柴田 輝子	三浦 好隆
久保 恵子	田中 恭子	三浦増右ヱ門	北構 政美
山中まき子	木戸口勇三	佐藤 一志	田中 幸子
千葉 静子	工藤 正敏	花田 和子	高橋 健悦
三好 昇	高村 治雄	吉田えり子	佐々木夏子
中関 康一	中花キミエ	千葉 聖子	今松 栄光
千葉 茂	武田 昭藏	遠藤 正信	千葉喜代子
遠藤 輝光	田中きくえ	武田 栄一	千葉 典夫
田中 直登	村井 敦子	武田 洋子	久保 良子
藤原 徳明	遠藤美江子	瀬川 正春	佐藤 竜一
竹田 洋子	澤口 寿	早坂真由美	高村真木子
堤 真希子	千葉麻美子	荒屋 静香	滝本菜奈香
高橋 鈴香	畠山 麻実	松森 幸子	佐藤 寛子
西村 歌織	三浦詩緒吏	山崎 玲奈	八重畑美香
三浦 深幸	柵山 晃子	星野 佳織	橋本 里奈
遠藤 百恵	小野寺裕香	佐藤 陽菜	佐々木康博
三浦 吟子	遠藤 美恵	佐藤 毅	高橋めぐみ



令和5年度 赤い羽根

令和5年10月1日から12月31日まで行った赤い羽根共同募金運動では、町内各世帯をはじめ、学校や職場などから総額4,366,441円のご協力をいただきました。

この募金は、当会が行う高齢者や障がい者などを対象としたさまざまな地域福祉活動に役立てられます。

岩手町内の学校から届いた優しさ

一方井小学校



沼宮内高等学校



このほかにも町内の学校から赤い羽根共同募金が寄せられました。心のこもった募金を誠にありがとうございました。

歳末たすけあい募金 地域歳末たすけあい運動

地域歳末たすけあい運動は、「みんなでささえあう、あったかい地域づくり」がスローガンです。

当協議会では、申請のあった町内の生活困窮世帯などを対象に、地区の民生委員を通じて、町民の方から寄せられた温かい善意を歳末たすけあい募金として配分しています。

43世帯へ義援金

配分対象及び経費	配分額
著しく生活にお困りの世帯…37件	370,000円
障がい児・者のいる世帯…6件	60,000円
合計	430,000円



共同募金

ご協力ありがとうございました

令和5年度 募金実績

◆戸別募金（一般募金・歳末募金）

(単位:円)

地区	世帯数	一般募金	歳末募金	地区	世帯数	一般募金	歳末募金	地区	世帯数	一般募金	歳末募金
前ヶ沢	15	13,500	3,000	上大町	27	24,300	5,400	葉木田	43	38,700	8,600
吉谷地	6	5,400	1,200	下大町	63	56,700	12,600	今松	51	45,900	10,200
御堂新田	12	10,800	2,400	上野口町	43	38,700	8,600	上嶋沢	49	44,100	9,800
御堂	35	31,500	7,000	下野口町	29	26,100	5,800	下嶋沢	32	28,800	6,400
水堀	30	27,000	6,000	上愛宕下	49	44,100	9,800	上浮島	23	20,700	4,600
小山沢	11	9,900	2,200	新愛宕下	79	71,100	15,800	下浮島	68	61,200	13,600
朽木林	20	18,000	4,000	下愛宕下	100	90,000	20,000	岩崎	29	26,100	5,800
北上	5	4,500	1,000	江刈内	51	45,900	10,200	沼袋	18	16,200	3,600
上横沢	22	19,800	4,400	石神	78	70,200	15,300	子抱	20	18,000	4,000
下横沢	18	16,200	3,600	上苗代沢	25	22,500	5,000	芦田内	33	29,700	6,600
尾呂部	57	51,300	11,400	下苗代沢1	23	20,700	4,600	野原	78	70,200	15,600
川原木	52	46,800	10,400	下苗代沢2	43	38,700	8,600	雪浦	54	48,600	10,800
笈の口	20	18,000	4,000	駅前	24	21,600	4,800	橋場	149	134,100	29,800
豊岡	23	20,700	4,600	犬袋	114	102,600	22,800	上町	32	28,800	6,400
大坊1・2	71	63,900	14,200	子抱団地	14	12,600	2,800	駅通	103	92,700	20,600
岩瀬張	33	29,700	6,600	細沢	41	36,900	8,200	下町・山道	81	72,900	16,200
曲り	7	6,300	1,400	太田	51	45,900	10,200	境田・二ツ森1・2	167	150,300	33,400
一本柳・白椏・日の神子	39	35,100	7,800	横田	86	77,400	17,200	秋浦・高梨	31	27,900	6,200
下屋敷・膝突・葉の木・上平	35	31,500	7,000	久保・落合	53	47,700	10,600	土滝・雨滝	8	7,200	1,600
大金沢・小金沢	15	13,500	3,000	新田	44	39,600	8,800	子九十	12	10,800	2,400
落葉・相寅瀬・万部	42	37,800	8,400	土川	59	53,100	11,800	大渡・遠中沢	23	20,700	4,600
大平	8	7,200	1,600	大森	25	22,500	5,000	太布	12	10,800	2,400
上・下五日市	230	207,000	46,000	一方井	102	91,800	20,400	水無	23	20,700	4,600
城山・新町	100	90,000	20,000	中田	36	32,400	7,200	丸泉寺	10	9,000	2,000
民部田	120	108,000	24,000	黒石	63	56,700	12,600	穀蔵	4	3,600	800
柳橋	37	33,300	7,400	大股	11	9,900	2,200	合計	3,767	3,390,300	753,100
館	109	98,100	21,800	上黒内	22	19,800	4,400				
田中・栄小路	46	41,400	9,200	下黒内	41	36,900	8,200				

◆職域募金

(単位:円)

職場名	一般募金	職場名	一般募金	職場名	一般募金
佐渡医院	10,000	㈱高橋商店	5,000	盛岡中央消防署岩手分署	2,100
業務スーパー 沼宮内店	1,137	北上脳神経外科クリニック	10,000	㈱東北銀行沼宮内支店	952
瀬川モータース(有)	5,656	㈱外山商店	4,765	㈱沼宮内タクシー	2,062
岩手町役場	31,280	ケアホーム川口	1,111	岩手県北自動車(株)沼宮内営業所	902
㈱佐藤建設	2,557	㈱岩手町ふるさと振興公社	1,044	岩手町社会福祉協議会	6,955
特別養護老人ホーム あんずの里	30,000	沼宮内歯科医院	10,000	職域募金合計金額	146,308
塚谷医院	10,359	新岩手農業協同組合岩手支所	2,658		
佐藤整形外科クリニック	4,570	特別養護老人ホーム ラベンダー	3,200		

◆学校募金

(単位:円)

学校名	一般募金
岩手町立沼宮内小学校	1,102
岩手町立一方井小学校	3,728
岩手町立沼宮内中学校	8,505
岩手町立川口中学校	4,600
岩手町立一方井中学校	3,981
岩手県立沼宮内高等学校	6,716
学校募金合計金額	28,632

◆その他募金

(単位:円)

募金者名	一般募金
匿名	12,147
いわてまち女性の会 久保支部	7,797
匿名	7,043
福澤博行	1,000
自動販売機益金	1,940
預金利息	10
その他合計	29,937

◆興行募金

(単位:円)

募金者名	一般募金
南山形地区文化祭実行委員会	18,164
興行募金合計金額	18,164

◆募金合計

(単位:円)

一般募金合計額	3,613,341
歳末募金合計額	753,100
共同募金合計額	4,366,441

まちの福祉



ふれあいランド岩手での車いす贈呈式。
このうち2台が町社協へ贈られました

ツルハ様・クラシエ様が町社協へ車いす2台寄贈

株式会社ツルハホールディングス様とクラシエホールディングス様による県内社会福祉協議会への車いす贈呈式が令和5年11月24日、ふれあいランド岩手で行われました。両社は、平成20年から車いす寄贈に取り組み、今回を含め累計164台を寄贈。本年度は県内7市町村社協に10台が寄贈され、うち2台が岩手町社協へ贈られました。寄贈された車いすは、町社協が行う車いす貸出事業やキャップハンディ体験学習などで活躍します。

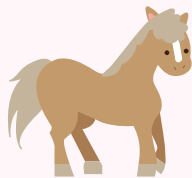


馬っこパーク・いわてまでバスで小旅行。
ウマのほかウサギなども触れ合いました

馬っこパーク・いわてへバスで楽しくお出かけ!

5月の子育てサロン「すくすく」は、「バスに乗って出かけよう」を企画。令和6年5月23日に滝沢市の馬っこパーク・いわてへの小旅行を楽しみました。2組5人の親子が参加し、ウマやウサギ、ヤギなどの動物との触れ合いも満喫しました。

6月の「すくすく」は、6月27日「お花と茶の湯を楽しもう」を予定。美育・食育ボランティア「クレマチス」の皆さんと、花器の手作りと生け花、抹茶や菓子
を堪能予定です。



編集後記

子育てサロンでは、ウマのかわいさに癒やされ、餌やり体験では勢いにびっくり。間近で触れ合える貴重な体験ができました。皆さんもぜひ、馬っこパークへお出かけしてみたいかがでしょう。

(田村)



ご寄附いただいた方の紹介

寄附者名・寄附団体名



北銀ふるさと大学
沼宮内校様[㊞]

- 一方井中学校 PTA 様…米、サバ缶、乾麺等 51 品
- 匿名様…10,000 円
- (株)ツルハホールディングス様・クラシエホールディングス様…車椅子 2 台
- いわてまち女性の会 会長 久保良子様…35,000 円
- いわてまち女性の会沼宮内会 会長 久保良子様…15,000 円
- ぬくみの会 会長 圓子理江子様…10,000 円
- 新岩手農業協同組合女性部岩手支部様…30,000 円
- 岩手県立沼宮内高等学校様…23,343 円
- みちのくコカ・コーラボトリング(株)西根営業所様…580 円
- 盛岡医療生活協同組合北岩手支部様…10,000 円
- 岩手町農産加工組合様…10,000 円
- 信義丘自治振興会様…2,000 円
- 北銀ふるさと大学沼宮内校様…238,455 円
- 南山形地区婦人会様…着ぐるみ 5 点
- ネオス株式会社盛岡営業所様…2,436 円
- 岩手おなご塾おらんど 会長 柴田和子様…10,000 円
- 岩手町陶芸クラブ 会長 阿部詔守様…11,401 円
- みちのくコカ・コーラボトリング(株)西根営業所様…284 円

【令和5年11月1日~令和6年5月31日受付分】